

6月議会一般質問答弁書

Q 奈半利町町営住宅（中層）駐車場の環境改善をすべきでは？

質問 1 回目

当町の町営住宅（中層）におきましては、天神団地が 3 棟、生木北団地が 2 棟、生木東団地が 1 棟、横町団地が 2 棟、立町団地が 1 棟で合計 6 カ所の団地で 9 棟が存在しているが、駐車場が確保されている団地は生木東団地 1 棟だけです。一番最後に建設された中層団地と承知しております。現在、中層団地の駐車場環境をどの様に感じているか見解を伺う。

答弁者（住民福祉課長 井上 明）

当町の中層住宅につきましては、昭和56年から62年にかけて建設されたものが 8 団地、平成 5 年に建設されたものが 1 団地の計 9 団地がございます。

各団地の駐車場の環境につきましては、建設した時期、敷地の形状又は空地等が異なりますので、舗装した駐車場が整備された団地、緑地帯等の空地を自治会が管理して駐車場と使用する団地、団地の敷地に空地が少なく近隣にある民間駐車場を契約する入居者など、各団地の立地条件により様々な状況でございます。

質問 2 回目

何故、駐車場が確保されていないか？当時では、現在ほど車社会では無かった為、建設をする際に緑地帯の確保は義務付けられていたが、駐車場に関しては明記されていなかったと理解しますが、最後に建設された生木東団地では、乗用車の必要性が認識され整備されたと思います。これは、法改正によるもので社会の環境に対応したのではないのでしょうか。

当町の高齢化比率は 50%を超えようとしている現在、また、他方で、高齢者の事故も全国的に増え社会問題としても大きな影響を与えております。しかしながら当町のような地方では、公共交通の整備も決して満足な状況にはありません。したがって乗用車が無ければ日常生活に影響が出るのは明白な現実である。それだけ個人の保有率が高いということにつながるわけです。

団地によっては、敷地内に駐車スペースが確保できない団地が殆どで、何とか緑地帯等を活用して駐車しておりますが、敷地内に収まらず、路上にまで駐車している状況である。この様な現状を考えると限界であると感じますが、見解を伺う。

答弁者（住民福祉課長 井上 明）

町営住宅は、公営住宅法の趣旨の下、低所得者向け住宅として建設しているものであり、現在では、公営住宅の建設時に一定の駐車場を設置することが認められておりますが、平成以前に建設した住宅は、国の基準では駐車場の設置が明確には認められておりませんでした。

そのため、当町の中層住宅でも昭和に建設した8団地は、駐車場が十分に整備できておらず、公募や入居時に入居者へ説明をしております。

本来、車を所有する入居者が、駐車場の無い住宅に入居する際には、近隣にある民間駐車場を契約し、車の保管を行う必要があります。

しかしながら、議員のご指摘の通り、現在において個人の車保有率の増加により、団地内の駐車場は不足が生じております。

そのため近隣に駐車場を借りている入居者と敷地内に駐車が確保されている入居者との間において、不公平な状態となっており、町としましては、対応が必要な状況であるということを認識しております。

質問3回目

皆さんも新聞報道により御承知と思いますが、4月には、立町団地におきまして駐車場のトラブルが原因で刑事事件まで発生しております。過去には、天神北団地・県営住宅でも多くの車のタイヤ等が被害にあった事例も御座います。

町営住宅では、駐車場所も自治会で調整しながら暗黙の了解で決めてておりますが、最近トラブルが多いと入居者からの相談も顕著であります。

そこで自治会だけに任すのではなく行政も積極的に関与し、ルール作りをするべきと考えます。また、県営住宅（天神南）はこのような社会環境やトラブルを解消すべきと考え、緑地帯及び公園を整備し駐車場を確保しました。

多くの中層団地は、駐車場を確保できるだけの物理的余裕がありません。ただ立町団地におきましては、緑地帯も広く整備をすれば入居者の駐車スペース

が確保できると思います。入居者間のトラブルを解消するために、行政・自治会が協議し、駐車場の整備をすべきと思うが、町長の見解を伺う。

答弁者（奈半利町長 竹崎 和伸）

駐車場問題の一番の解決策は、すべての中層住宅に公平に駐車場を確保することです。

しかしながら、今日まで駐車場の整備が進まない事情としましては、建設当時は、現在のような車社会になることが想定されておらず、敷地内の空地では物理的に駐車場の整備ができない点でございます。

駐車スペースの無い団地については、周辺の町有地等を踏まえて、新たな駐車場整備の可能性が無いか状況調査等を行い、また、立町第1団地につきましては、緑地帯を改修することで駐車場を整備する余地がございますので、自治会及び入居者と駐車場整備についての協議を行っていきたいと考えております。